

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議にご家族が参加できないことが多く、運営に関しての意見等を抽出できていない。	ご家族に毎回参加してもらうことができる。	・特定の方を選出するのではなく、会議前に広報誌や毎月の請求時発送時、電話等で広く呼びかけを行い、参加できる方に参加してもらうようにする。(今年度中はコロナのこともあり開催を見合わせる予定のため、次年度より実施する)	6ヶ月
2		運営推進会議の議事録をご家族に送付しておらず、運営推進会議のことがご家族の中に浸透していない。	ご家族に運営推進会議のことを知っていたき、参加しやすい環境づくりを行う。	・運営推進会議録をご家族に送付できていなかったため、送付することで運営推進会議のことを知っていただく。	6ヶ月
3		運営推進会議の参加メンバーが少なく、幅広い意見が聴取できていない。	運営推進会議にて活発な意見交換ができる。	・意見を出しやすいような質問の仕方を工夫する。 ・現行メンバー以外に参加してもらえる方はいないか、有料老人ホーム職員とも連携を図りながら進めていく。(コロナのことがあるため、実質次年度から実施の予定)	6ヶ月
4		行政とのやりとりが電話・書面の郵送にとどまり、行政に出向くことが少ない。	行政と日頃より連携を図り、顔なじみの関係を構築する。	・書類を提出する際は、郵送ばかりではなく、訪問にて提出する。 ・上京事業所連絡会に参加する。	6ヶ月
5		介護計画に具体性がない箇所があり、個性があまり見えない計画も見受けられる。	個別性のある利用者主体の介護計画が作成できる。	・目標の表記は利用者目線で表現する。 ・サービス内容はより具体的に誰が見てもわかるような表現で記載する。 ・ケース検討会議での意見を介護計画に組み込む。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。